

地道な研究に 科研費続々と

岡島、小嶋、成岡、前川先生に

金沢学院短期大学、金沢学院大学で平成十九年度分の文科省科学研究費の獲得が相次ぎ、総額五百八十七万円に達しました。

短大では、岡島厚学長補佐が「実用プラント配管内構造物の流力振動評価と学会基準・指針の総括的検討」で百六十九万円、大学では小嶋芳孝美術文化学部教授が「ロシア沿海地方における渤海考古学の基礎資料調

栗津原講師がソバ食品で助成金

短大の栗津原理恵食物栄養学科講師は「ソバ食品の



栗津原理恵
短大講師

調理性および抗酸化性に対するルチン・タンパク質複合体の影響」の研究で、飯島記念食品科学振興財団から平成十八年度学術研究助成金として四百六十万円を獲得しました。

まず公務員試験に理解

大学 就職教育講座スタート

金沢学院大学の三年生を対象に一年間にわたって就職に向けた指導を行う就職教育講座が四月から開講しました。オリエンテーション、ガイダンス、アンケートに続いて二十七日からの共通講座で本格的な講義が始まり、参加した学生は、まず公務員の採用試験について理解を深めました。

講座では、石川県人事委員会事務局の担当者が、県の仕事と組織、県職員と警



開講した就職教育講座
「4号館講堂」

志望校決定に向けて

東高3年生 学院大・短大を見学



先輩の話を聞く東高校3年生 = 6号館

金沢学院東高校の三年生二百三十四人が五月七日、金沢学院大学・短期大学を見学し、来春の志望校決定に向けて、学部学科の説明、先輩学生の話に耳を傾けました。はじめに学校紹介ビデオを見た後、志望を予定している学部・学科に分かれて説明を聞き、授業

「で百三十万円、成岡浩一経営情報学部准教授が「会計利益とその構成要素のブラッシングに関する実証研究」、前川浩子文学部助教が「摂食障害および不健康な食行動の発達の研究」

で各百二十万円の科研費を交付されました。
ベイトソン先生に分配
また、ゴードン・ベイトソン文学部准教授は石川県立大学とのeラーニング活用に関する共同研究でムードル・モジュールの開発を分担し、科研費から四十八万円の分配を受けました。

米加の大学生と交流会

金沢学院大学文学部の「アメリカ・カナダ大学生との交流会」は五月八日、学内で行われ、それぞれの学校の紹介やいろいろな話題で歓談しました。訪れたのは石川県国際交流協会の日本語研修プログラムで来日した米ワシントン・リー大学とカナダ・モントリオール大学の学生計十三人です。グループ懇談「写真左」では、学校生活をはじめ趣味や生活、文化などについて意見を出し、互いに理解を深めました。



能登地震義援金26万円

能登半島地震の被災地へ送るため学内で学生・教職員から寄せられた義援金は二十六万八千円となりました。五月十一日に金沢学院大学・短期大学学生会会長が北國新聞社を訪れ、寄託します。

発行・広報室